

# イントラリンクス・ディール・フロー・インジケーター グローバルM&Aマーケット将来動向を示す先行指標

## イントラリンクス・ディール・フロー・インジケーター (DFI) とは？

イントラリンクス・ディール・フロー・インジケーター (DFI) は、世界各地で行われるセルサイド M&A マンデートとデューデリジェンス段階に達している発表前の初期段階の M&A 活動を追跡調査し、それに基づく統計的分析により、世界の M&A マーケット活動レベルを予測するイントラリンクス独自の先行指標です。今後の M&A マーケットの将来動向予測を提供します。

資産売却、事業売却、私募ファンド、資金調達、増資、ジョイントベンチャー、提携など、取引 (ディール) のためのデューデリジェンスには、一般的にバーチャルデータルーム (VDR) が使用されます。イントラリンクス DFI は、イントラリンクスまたはその他のプロバイダーが開設、または提案した VDR の総数データをもとに、統計分析されています。イントラリンクス DFI は、イントラリンクスの市場シェアや VDR サービスの市場需要の変化などの調整は一切されていません。

## イントラリンクス DFI で何がわかるのか？

イントラリンクス DFI は、デューデリジェンスのために開設、または提案されたバーチャルデータルーム (VDR) の数を前四半期に対しての相対変動比率で表したものです。VDR はディールの初期段階で開設されるので、VDR が設置、また提案された数を追跡することで、将来のディール活動の予測が可能となります。イントラリンクスは VDR 提供におけるグローバル・リーディング・プロバイダーであるため、その統計情報がユニークで価値のあるものと言えます。(米国 ADP < Automatic Data Processing > 社が、給与計算データを基に非農業雇用者数などを予測する ADP 雇用統計と似たような位置づけにあるとも言えます。)

イントラリンクス DFI リポートは、グローバルの M&A ディール活動の分析に加え、4 地域別 (北米 / 南米 / アジア太平洋地域および日本 / 欧米・中東・アフリカ) の M&A ディール活動についても報告しています。また業界別の分析により、各セクターの変化も追跡しています。

## イントラリンクス DFI に、イントラリンクスの関与がない・発表されない・あるいは成約に至らないディールは含まれているのか？

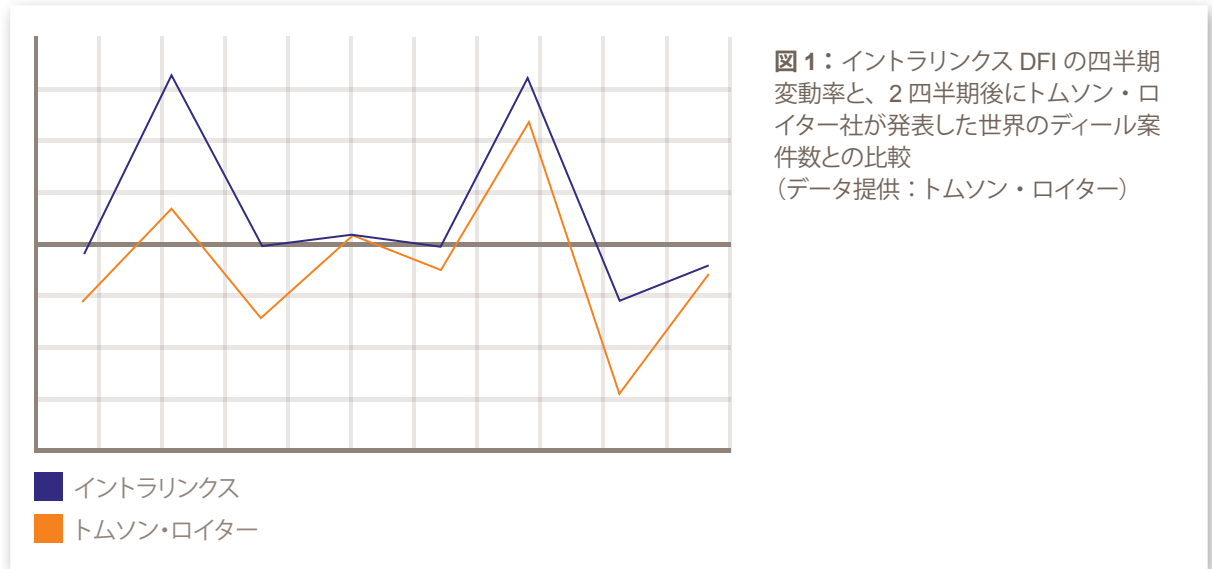
イントラリンクス DFI は、デューデリジェンスを目的に、イントラリンクス ディールスペース プラットフォーム上に開設された VDR 数、およびセールスプロセスの中で知り得たディール (結果的に他社のサービスが選択された) 案件数を統計データとしています。このデータには、将来の M&A 活動レベルの指標となる大型案件が多く含まれています。

デューデリジェンスを実施したディールでも、公表されない、あるいは成約に至らないものもありますが、VDR を検討したということは真剣な検討がなされたことを意味しており、マーケットでバイヤー候補の絞り込みや、何らかのやり取りがなされるプロセスまで進んでいた案件といえます。イントラリンクスのクライアントのケースでは、デューデリジェンスの段階に達したディールは、高い確率で成約されています。またイントラリンクスは唯一、ディール件数ではなく、四半期比、前年度比でのディール数変動率を提供しています。

## イントラリンクス DFI は将来的に発表されるディール活動を正確に予測しているか？

私どもは、イントラリンクス DFI が将来的に発表されるディール活動を見通す信頼性ある指標であると確信しています。DFI の予測能力を実証するために、イントラリンクス DFI データをトムソン・ロイターが発表している M&A ディール公表案件数と比較しました。トムソン・ロイターは、地域別、資産クラス別、業界別でディールフロー、市場動向およびディール活動をモニターし、公表された M&A ディール活動の実績を提供しています。このデータと比較することで、イントラリンクス DFI が将来の M&A 活動を予測する正確な指標であることを検証できると考えます。(次ページへ続く)

イントラリンクス DFI データを 2 四半期後のトムソン・ロイターの公開ディール案件データと比較すると、以下 (図 1) のとおり、明確な相関関係が示されました。



イントラリンクスは、独立系統計分析コンサルティング会社 *Analysis & Inference Inc.* と共同で、上記図 1 に示した 2011 年第 3 四半期から 2013 年第 2 四半期の期間についての線形回帰分析を実施しました。その結果、高レベルの統計的有意性が示されました。回帰分析の  $R^2$  統計値は 0.74 で、非常に高い相関性を示しています。また、この回帰分析では、P 値が 0.6% で、イントラリンクス DFI が 6 ヶ月後の M&A 動向を示す先行指数として 99% 以上の確率をもつ、統計的に信頼性が高いものであることを示しています。これは、米国のインフレ率、失業率や GDP に関する米国政府予測データに匹敵するものです。

次の URL から Intralinks DFI レポートを無償でダウンロードすることができます。

<http://www.intralinks.com/knowledge/intralinks-deal-flow-indicator> (英語)

<http://morethanavdr.com/jp/> (日本語)

## Intralinks

[intralinks.com/knowledge/intralinks-deal-flow-indicator](http://intralinks.com/knowledge/intralinks-deal-flow-indicator)

イントラリンクス (NYSE: IL) は、グローバル企業に対し、情報に対するコントロールを維持しながら、ビジネスパートナーとコンテンツを共有し、協働するための企業規模のソリューションを提供いたします。イントラリンクスのプラットフォームを利用することで、企業、パートナー、そしてサードパーティの皆様は、企業リスクや規制リスクを軽減するためのコンプライアンスを順守しながら、機密性の高い文書についても共有し、協働することができます。イントラリンクスは、ディールマネジメントとバーチャルデータルーム (VDR) によるソリューションでの市場リーダーとして、企業の皆様が情報を体系化、管理共有、また追跡することを可能にし、取引の重要な局面で効率性、情報のアクセス性、そして専門性を向上させながらディールプロセスを加速化するためのソリューションを提供しております。1997 年にイントラリンクスは、債権発行市場と M&A コミュニティで活躍する企業間の協働を促進するため、「SaaS (サービスとしてのソフトウェア)」をベースとするソリューション・サービスを世界に先駆けて提供し始めました。そして、弊社は企業の皆様の業務プロセスの向上に寄与してまいりました。弊社のプラットフォームは、世界最大のディールメーカーによるコミュニティに貢献しており、M&A 市場では最も多く利用いただいております。

© 2014 Intralinks, Inc. All rights reserved. 「Intralinks」およびイントラリンクスのロゴマークは、Intralinks, Inc. の商標登録です。グローバルディールに関するトムソン・ロイターのデータ (© 2014 Thomson Reuters) は同社の許可のもとに使用しています。Intralinks DFI は、情報提供の目的のためにのみ、現状のままで提供されています。イントラリンクスは、Intralinks DFI の内容についての適時性、正確性または完全性に関して、いかなる明示・黙示の保証や条件も負うことはありません。Intralinks DFI は、過去、現在、将来にわたるいかなる期間でのイントラリンクスの業績または運用実績を示す指標として使われることを意図するものではありません。